

## 福島第一原子力発電所 多核種除去設備における堰内漏えいについて

### ■時系列

#### • 2016年3月25日

19時42分 多核種除去設備において、漏えい検知器が動作し「多核種吸着塔Aスキッド3漏えい」の警報が発生

21時10分頃 当社社員にて、現場を確認したところ、当該漏えい検知器付近に水があること  
また多核種除去設備A系の吸着塔6Aの下部に設置している配管のフランジ  
から1秒に1滴程度の滴下があることを確認

※建屋内全体が堰構造となっており、漏えいした水の建屋外への流出はない

22時00分頃 水の滴下が確認された配管のフランジの増し締めを実施

22時15分頃 フランジ部からの滴下が停止したことを確認

23時46分 漏えいした水の回収作業を開始

#### • 2016年3月26日

1時20分 漏えいした水の回収作業が終了

### ■漏えい量

• 漏えい量について、漏えい検知用の升（約20cm×20cm×深さ5cm）および床面の漏えい範囲（約2m×3m×深さ1mm）より、約8Lと推定

### ■漏えいした水の分析結果

• セシウム134：150 Bq/L、セシウム137：690 Bq/L、全ベータ：19,000 Bq/L

• 上記の分析結果より、漏えいした水については、多核種除去設備の系統内の水と判断

### ■原因

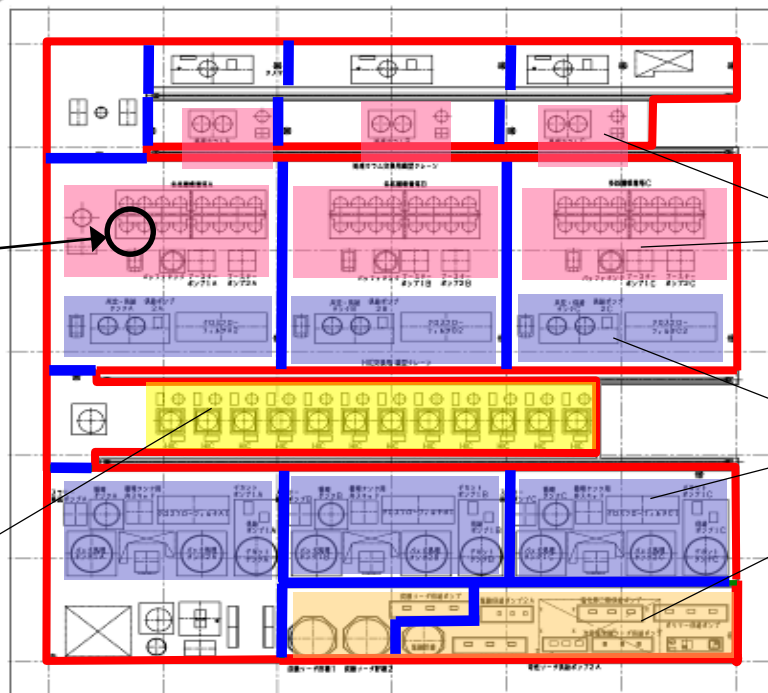
• 調査中

■漏えい箇所



漏えい箇所

高性能容器



多核種除去設備（吸着塔）

前処理設備

薬液供給設備

—：外周堰

—：内周堰

■現場の状況

＜多核種除去設備（機器配置図）＞

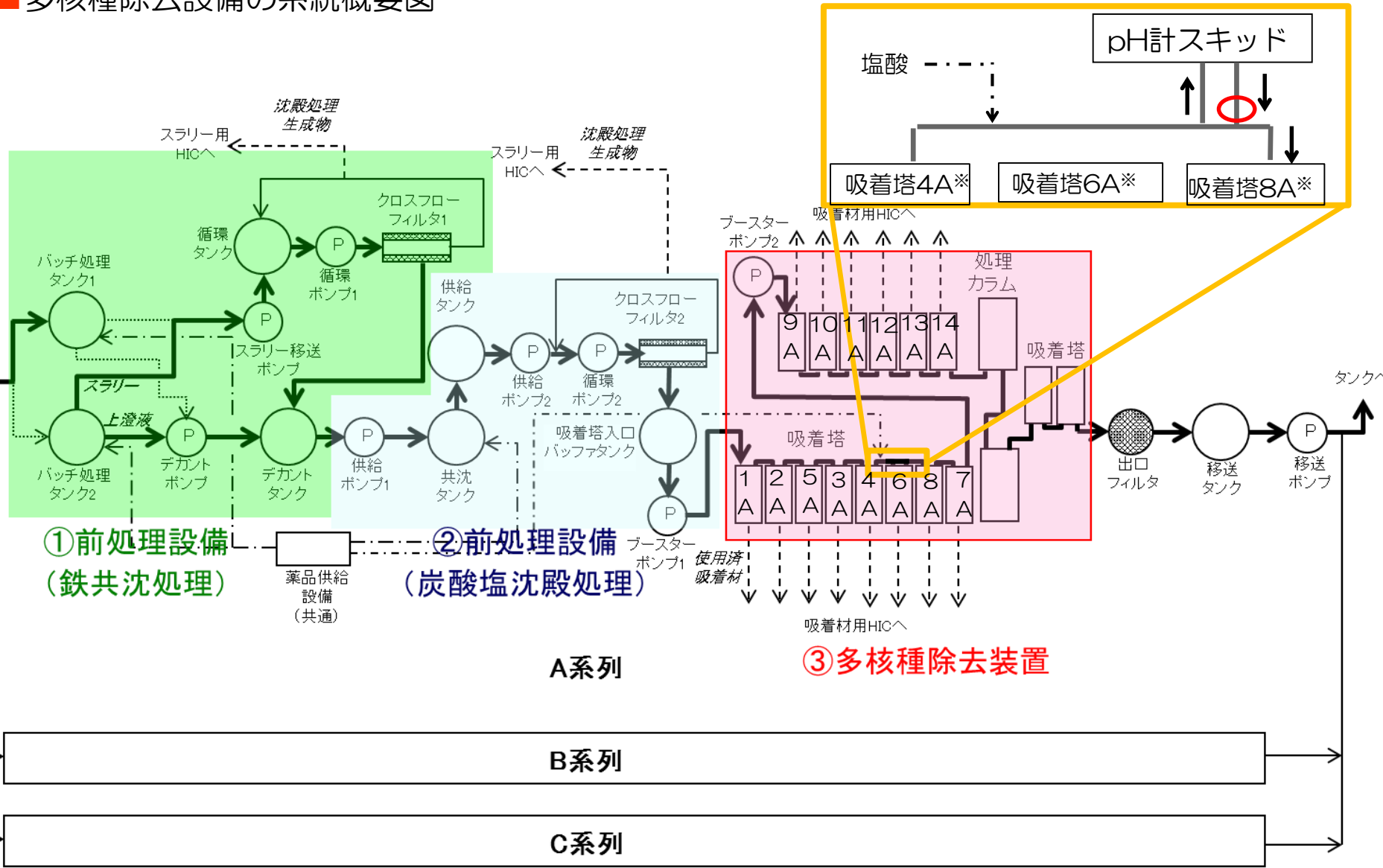


＜配管フランジ＞



＜漏えいした床面の状況＞

# ■多核種除去設備の系統概要図



※事象発生時の通水順序は4A→6A (バイパス) →8A